芸術を支える力（チカラ）

「びわ湖ホールをはじめ、地域の皆さまとともに、生活文化の創造や湖岸エリアの発展に尽力してまいります。」

大津商工会議所会頭　河本英典（かわもと えいすけ）

「びわ湖の春 音楽祭」は、大津に春の到来を告げるイベントとして定着しています。私自身も毎年、心弾む演奏に包まれることを楽しみにしているイベントであり、先日も2日にわたって鑑賞させていただきました。

音楽は、人の心に潤いを与え、地域にも力を与える大切なものであり、びわ湖ホールは大津湖岸エリアにおいて、なくてはならない存在となっています。

大津商工会議所では、大津港からなぎさ通りにかけて立地している既存の官・民のコンベンション施設や宿泊施設の集積を活かし、一体的に活用することを念頭に、県内7商工会議所を始めとする経済団体、滋賀県、大津市、民間事業者など官民が連携して国際会議の誘致やビジネス誘客・観光振興に取り組んでいるところです。

昨年11月、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを会場に全国から2,500名をお迎えし、第56回全国商工会議所女性会連合会滋賀全国大会を開催しました。びわ湖ホールから目の前に広がる琵琶湖の美しさ、びわ湖ホール声楽アンサンブルによるオープニングセレモニーに、「プロの声楽家の迫力、びわ湖ホールの音響の素晴らしさに感動した」とのお声を沢山いただきました。

今年4月からは、大津港、ラーゴ大津、琵琶湖博物館、おごと温泉港を結ぶ新しい航路が運行されました。湖上から眺める風景は格別であり、雄大な琵琶湖の魅力を五感で体験していただけます。

また、令和9年には、大津港に新たな「琵琶湖文化館」が開館する予定であり、これまで以上に多くの方々が、この湖岸エリアに足を運んでいただくことを期待しています。

こうした取り組みを効果的に連携させ、大津湖岸エリアが多くの人で賑わい、地域の活性化が進むようさらに取り組んでまいります。

その中で、びわ湖ホールが果たすべき役割は非常に大きく、世界有数のコンサートホールがこの湖岸エリアに存在するという、他の地域にはない利点を活かしながら、びわ湖ホールをはじめ、地域の皆さまとともに、生活文化の創造や湖岸エリアの発展に尽力してまいりたいと考えております。

昨年11月、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで開催された
第56回全国商工会議所女性会連合会滋賀全国大会

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/
びわ湖ホール　検索

チケットInformation

インターネット予約 **https://www.biwako-hall.or.jp/**

電話予約 チケットセンター **TEL.077(523)7136**
窓口販売 2階チケットセンター
10:00～19:00／火曜休館　※休日の場合は翌日。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。　※（　）内は友の会会員料金。　※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳以上入場可。
【青少年割引当日券の販売】青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年（24歳以下）の方に、半額で当日券を発売いたします。SS～E席のみ。U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。
【シアターメイツ優待公演】シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い（電話・窓口のみ）。

〈アクセス〉
大阪から新快速で約40分、京都から約10分　名古屋から新幹線／京都駅のりかえで約60分
●JR琵琶湖線（東海道本線）「膳所（ぜぜ）」駅より徒歩約15分、または 京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分
●JR琵琶湖線（東海道本線）「大津」駅より徒歩約20分
《駐車場のご案内》有料849台 24時間営業　料金：7:00～23:00　1時間毎210円（4時間経過後1時間毎110円）
23:00～ 7:00　1時間毎110円（時間内最大料金420円）

滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 https://www.s-bunsan.jp/
文産　検索

チケットInformation

インターネット予約 **https://biwako-arts.tstar.jp**
パソコン（座席選択可）、スマートフォン（座席選択不可）から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。（一部公演、席種を除く）

【利用方法】①チケット予約・購入　②チケットの受取（会館窓口 or セブンイレブン・ファミリーマート）
※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。

電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。
滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111
※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始（12月29日～1月3日）

〈アクセス〉
（電車でお越しの方）
JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分
（お車でお越しの方）
北陸自動車道米原インターより約10分　または　名神高速道路彦根インターより約15分
《駐車場のご案内》360台（無料）

湖響No.105　令和7年6月20日発行　｜発行｜公益財団法人びわ湖芸術文化財団　｜編集｜滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール　TEL.077-523-7133　/　滋賀県立文化産業交流会館　TEL.0749-52-5111

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール

2025. Summer　NO.105

湖響 KOKYO Plus Art Journey えいじゃに

滋賀県立文化産業交流会館

びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

Contents

オペラへの招待　レハール作曲『メリー・ウィドウ』……P2・3
びわ湖ホール声楽アンサンブルNEWS……P4・5
公演レポート『死の都』、『びわ湖の春 音楽祭』……P6
夏・秋公演 Pick up!!……P7
プロデュースオペラ『トゥーランドット』上演に寄せて……P8
びわ湖ホールからのお知らせ……P9
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より……P10・11
芸術を支える力……P12

びわ湖ホール プロデュースオペラ コルンゴルト作曲『死の都』より
（2025年3月）

びわ湖ホール　オペラへの招待

レハール作曲 メリー・ウィドウ

全3幕

日本語上演・英語字幕付

THE MERRY WIDOW

『こうもり』と並ぶウィンナ・オペレッタの代表作『メリー・ウィドウ』
2組のカップルの恋物語を巡るドタバタを瀟洒な歌とダンスで彩ります。

〈びわ湖ホール　オペラへの招待〉は、オペラ鑑賞が初めての方から大好きな方まで、どなたでも本格的なオペラをお楽しみいただけるシリーズです。

ウィンナ・オペレッタの歴史上ヨハン・シュトラウスⅡ世が活躍した「黄金の時代」に続く「白銀の時代」の作品です。レハールやカールマン、ファレなどの作曲家が名作を遺しました。中でも『メリー・ウィドウ』はヨハン・シュトラウスⅡ世の『こうもり』と並ぶウィンナ・オペレッタの代表作とされています。

パリの社交界を舞台に2組のカップルの恋物語を巡るドタバタを瀟洒な歌と洗練されたダンスが全編を彩ります。

フランツ・レハール

作品について

作曲：フランツ・レハール（1870-1948）
原作：アンリ・メイヤック「大使館付随員」
台本：ヴィクトール・レオン、レオ・シュタイン
初演：1905年12月30日
　　アン・デア・ウィーン劇場
指揮：作曲家自身
副指揮：ロベルト・シュトルツ

初演から120年を迎える『メリー・ウィドウ』の多層的な魅力　文＝小宮正安

今年は、有名音楽家のアニヴァーサリー・イヤーが目白押しだ。「音楽の都」として有名なウィーンにゆかりの人物ということで言えば、「ワルツ王」ヨハン・シュトラウスⅡ世の生誕200周年がすぐさま思い浮かぶ。

だがウィーンと密接に関係するという点では、とある超有名作品のアニヴァーサリー・イヤーも忘れてはならない。それこそが、初演から120年を迎えるオペレッタ『メリー・ウィドウ』だ。しかも作曲者は、19世紀後半にウィンナ・オペレッタの「黄金時代」を創り上げたシュトラウスⅡ世の路線を継ぎ、20世紀前半にこのジャンルの「白銀時代」を担った代表格、フランツ・レハールである。

それにしても、『メリー・ウィドウ』とはどきりとさせるタイトルだ。直訳すれば「陽気な未亡人」。美貌だけでなく有り余る財産を亡夫から受け継いだ未亡人ハンナが、主人公となっている。そんなハンナと、彼女に密かな思いを寄せるものの過去の経緯からなかなか素直になれない元恋人のダニロの織り成す恋愛模様を軸に、恋と金をめぐる様々な駆け引きや誤解を描いた、いわば大人のラブコメに他ならない。

というわけで、楽しくとろけるようなナンバーも目白押しだ。「メリー・ウィドウのワルツ」として有名なハンナとダニロの二重唱をはじめ、どこかで聴いたことのあるメロディが、そこかしこに散りばめられている。ダンスシーンもふんだんに採り入れられていて、見て聞いて飽きさせない舞台が繰り広げられる。

しかも、こうした表面的な愉悦にとどまらない点も、『メリー・ウィドウ』の特徴だ。ハンナとダニロの故郷である「ポンテヴェドロ」は、この作品の初演当時、トルコの支配から脱して間もなかった「モンテネグロ」を彷彿させる架空の王国。しかもモンテネグロは「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれたバルカン半島に位置し、ウィーンを都とするオーストリア＝ハンガリー帝国もこの地域に力を及ぼそうとした結果、政治的緊張が高まり、やがては同帝国の滅亡を招いた第一次世界大戦へと繋がる。

つまり、名門貴族ハプスブルク家の支配の下、長年ヨーロッパの覇者として君臨してきたオーストリア＝ハンガリー帝国の黄昏が、このオペレッタには色濃く刻まれている。そしてその感をいやがうえにも高めるのが、レハールが書いた爛熟の極みともいえる音楽だ。しかもそうした技法は、彼自身がワーグナーやマーラーをはじめとする時代の最先端をゆく「前衛音楽」から学び取ったもの。つまり、「娯楽」要素と「深刻」要素を微妙な匙加減でブレンドして、陽気な登場人物や舞台設定が抱える密かな闇も表現されている。

そんな複雑な魅力を具えた『メリー・ウィドウ』が、オペラはもちろんオペレッタを得意とする阪 哲朗の指揮の下、魅力的な歌手陣と新しい演出を通じて誕生する。練習とは異なる当意即妙のやりとりやアドリブが次々と出現し、ことによってはオペラ以上に難しいオペレッタのライヴ上演ならではの魅力が、きっと劇場一杯に満ちるだろう。さあ、この夏は「陽気な未亡人」の魅力にどっぷりとハマりましょう！

5月中旬の稽古風景

筆者：プロフィール

小宮正安
横浜国立大学大学院都市イノベーション学府・都市科学部教授。専門はヨーロッパ文化史。著書訳書に、『ベートーヴェン《第九》の世界』（岩波新書）、『ばらの騎士』（音楽之友社）、『エリザベートと黄昏のハプスブルク帝国』（創元社）、『チャールズ・バーニー音楽見聞録 ドイツ篇』（春秋社）など多数。『ウィーンフィル・ニューイヤーコンサート』（NHK Eテレ、FM）でのコメンテーターをはじめテレビやラジオへの出演、『東京・春・音楽祭』でのナヴィゲーターなど、多方面で活躍している。

ハンナ・グラヴァリ役 並河寿美（ソプラノ）インタビュー

今回、ヒロインのハンナ・グラヴァリ役を演じるのは、日本を代表するソプラノの並河寿美。
並河にとって、いくつかの公演の名演によって当たり役といわれています。
今回びわ湖ホールでどのようなハンナ役を見せてくれるのか、興味は尽きません。

「遊べる」というオペレッタの醍醐味を最大限にいかして、新しい、びわ湖ホールならではの『メリー・ウィドウ』ができればいいなと思っています。

並河寿美

プロフィール

並河寿美（ソプラノ）
Namikawa Hisami

大阪音楽大学卒業、同大学院オペラ研修室修了。新国立劇場『おさん―心中天網島より―』（世界初演）、びわ湖ホール『シンデレラ』、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『トゥーランドット』『アイーダ』、兵庫県立芸術文化センター『蝶々夫人』『トスカ』各タイトルロール、また、日生劇場『フィデリオ』レオノーレ、二期会『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ、兵庫芸文『フィガロの結婚』伯爵夫人、同『メリー・ウィドウ』ハンナ等数多く主演。2023年にはボローニャ歌劇場来日公演『トスカ』（岡山・大阪）にタイトルロールとして急遽出演し絶賛を博した。24年大阪交響楽団『運命の力』レオノーラに出演。コンサート・ソリストとしても『ミサ・ソレムニス』『千人の交響曲』等全国各地で活躍している。平成30年度（第73回）文化庁芸術祭大賞、令和元年度兵庫県文化賞等多数受賞。大阪音楽大学特任准教授。二期会会員。

―並河さんのハンナ役は、これまでの公演で定評のある役となっています。

はじめて『メリー・ウィドウ』に出演したのは、2008年兵庫県立芸術文化センターでのヴァランシエンヌ役でした。その公演でのハンナ役を演じた佐藤しのぶさんに衝撃を受けました。素晴らしい歌はもちろん、気品のある立ち居振る舞い、その存在感の大きさに圧倒され、あこがれのハンナとして自分の中での模範として生き続けています。

―その後、2021年に再演された同じプロダクションのハンナ役で絶賛されました。

ハンナ役を演じるうえで、2008年のヴァランシエンヌ役の経験は重要でした。この作品は、恋愛が引き起こす誤解や感情のもつれなど人間関係の綾が混然となって進んでいきます。脇から俯瞰してみることで、ハンナがどのように登場人物たちを巻き込んでドラマを展開させていくかということがわかり、役を演じるうえでの手掛かりとなりました。

―オペラとオペレッタで様々な役柄を演じるなかで、オペレッタの魅力をどのように感じられていますか。

これまで演じてきて、「遊べる」ということがオペレッタの醍醐味だと感じています。作品としての約束ごとはありますので、逸脱すると収拾がつかなくなる。ギリギリの境目を見定めなければなりません。そのうえで「こうしたら、もっと面白くなる」と各キャストが、自分なりのアイデアを持ち寄って、演出家や指揮者が導いてくださる道筋に従いながら各場面でそれを加えていくことで、楽しい舞台になっていくと思います。

もちろん、素晴らしい歌が溢れ、また「カンカン」などノリのいいダンスシーンなど、芸術面もこの作品の大きな魅力です。

―びわ湖ホールの公演でもそういった楽しさは期待できますね。

私自身「前よりもこうした方がおもしろい」と色付けをしたくなるサービス精神旺盛な「関西人の血」が流れていますが、やりすぎてお客さんをしらけさせないようにするさじ加減は必要です。今回のスタッフ、キャストはそれをわかっている人たちが揃っているので、行けるところまで行けるのではないかとワクワクしています。

今回はびわ湖ホール声楽アンサンブルの若い方たちと一緒に作っていくことになります。世代によって笑いや楽しさの違いはありますが、彼らのフレッシュな感覚や発想をいただき、自分たちの持っている「昭和感漂う笑い」とブレンドしながら、お客様を巻き込んでいく、新しいびわ湖ホールならではの『メリー・ウィドウ』ができればといいなと思っています。

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
演出：唐谷裕子
振付：河森睦生
装置：増田寿子
照明：原中治美
衣裳：下斗米大輔
音響：小野隆浩（びわ湖ホール）
舞台監督：岩崎由香
管弦楽：日本センチュリー交響楽団
合唱：メリー・ウィドウ合唱団

2025年7月18日（金）・19日（土）・20日（日）・21日（月・祝）
全日14：00開演［中ホール］

一般6,050（5,500）円　青少年（24歳以下）2,200円
シアターメイツ1,100円　チケット発売中

《キャスト》

	18日・20日	19日・21日
ハンナ・グラヴァリ	並河寿美**	船越亜弥*
ミルコ・ツェータ男爵	市川敏雅*	西田昂平
ヴァランシエンヌ	高田瑞希	山岸裕梨
ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵	迎 肇聡*	有ヶ谷友輝
カミーユ・ド・ロシヨン	奥本凱哉	福西 仁
カスカーダ子爵	島影聖人*	
ラウール・ド・サンブリオッシュ	大野光星	
ボグダノヴィッチ	平 欣史*	
プリチッチュ	佐貫遥斗	
プラスコヴィア	徳田あさひ	
クロモウ	五島真澄*	
オルガ	山内由香	
シルヴィアーヌ	小林由佳	
ニエグシュ	竹内直紀*	
踊り子・パーティーの客人たち	山田結香子、岩石智華子	
パーティーの客人たち	芳賀拓郎　ほか	

**客演　*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

©Takashi Imai
指揮：阪 哲朗

©shiki
演出：唐谷裕子

びわ湖ホール 声楽アンサンブル

NEWS

日本唯一の公共ホール専属の声楽家集団、びわ湖ホール声楽アンサンブル。
オペラ公演、定期公演のほか、学校巡回公演をはじめ、映像配信への出演など数多くの活動を行っています。
2025年4月からは、3人のメンバーが新たに加わり、「びわ湖の春 音楽祭2025」でデビューしました。

新メンバーが加わりました。

びわ湖ホール声楽アンサンブルに新たに3人のメンバーが加わりました。それぞれのメンバーに
Q1. メンバーとしての生活には慣れましたか？
Q2. びわ湖ホールで挑戦したいことは？ という2つの質問に答えてもらいました。（5月に行いました）

山田結香子（ソプラノ） Yamada Yukako

奈良県出身。大阪芸術大学演奏学科を首席卒業、同大学院芸術研究科修士課程声楽研究領域修了。卒業時に研究室賞、修了時に塚本英世賞を受賞。第24回大阪国際コンクールSection 1 声楽部門Age-U歌曲コース第3位。令和5・6年度山岡トロイメライ音楽財団奨学生。第64回関西新人演奏会出演。オペラでは『魔笛』パミーナ、パパゲーナ、童子 I、高円宮妃久子殿下原作オペラ「氷山ルリの大航海」キキ役、『秘密の結婚』カロリーナ役などで出演。その他多数の演奏会にも出演。吉井真記子、故・矢田部義弘、三原 剛の各氏に師事。

Q1. はじめの1ヶ月はどんどん進む稽古についていくために、寝る時以外は楽譜の前にいる生活で大変でしたが、今では少しずつ慣れてきたと思います。広いホールの中で迷子になることも少なくなりました！毎日の稽古の中で沢山学ぶことがあり、充実した日々を送っています。新しい環境でまだ緊張は抜けませんが、美しい琵琶湖にパワーをもらいながら日々成長出来るよう頑張ります！

Q2. 私自身これまで日本歌曲を中心に研究していたこともあり、これからも日本語の曲は大切に歌っていきたいです。また、合唱曲やミュージカルも好きなので、そういった曲も柔軟に表現出来る歌手を目指して様々なジャンルに挑戦してみたいです！子どもたちの前で演奏する機会では、皆さんに歌うことの楽しさが伝わるような演奏をしたいと思います。

佐貫遥斗（バス） Sanuki Haruto

兵庫県三田市出身。大阪教育大学教育学部教育共働学科芸術専攻音楽表現コース卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻修了。第78回全日本学生音楽コンクール・大阪大会で第2位、全国大会入選。第2回国際声楽コンクール東京大学生部門第3位。令和4年度大阪教育大学卒業記念演奏会、第64回関西新人演奏会に出演。オペラでは『ドン・ジョヴァンニ』役、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役、『椿姫』ジェルモン役『ヘンゼルとグレーテル』ペーター役で出演。宗教曲ではモーツァルト『戴冠ミサ』のソリストを務める。これまでに声楽を小中公平、吉田稔、玉井裕子、松原 友の各氏に師事。

Q1. 入団当初は忙しさでついていくのに必死でしたが、毎日のお稽古や演奏会を経験して、まだまだ余裕はありませんが、毎日楽しく生活しています。先輩方や指導者の方からさまざまなことを勉強し、技術を吸収させていただいています。これからオペラ公演やその他の公演のためにお稽古が続きますが、体調管理に気をつけて毎日頑張ります。

Q2. びわ湖ホール声楽アンサンブルではクラシック音楽に留まらず、幅広いジャンルの曲を演奏する機会があり、そこが魅力だと思います。ミュージカル曲やポップス曲等、今まで歌ってこなかったジャンルの曲にもたくさん挑戦したいです。オペラではいつか大きな役を演じられるように、そして来ていただくお客様に喜んでいただけるように頑張ります。

芳賀拓郎（バス） Haga Takuro

大阪芸術大学演奏学科声楽コース卒業。同大学院前期課程修了。第25回日本演奏家コンクール一般Aの部特別賞受賞、第11回あおによし音楽コンクールプロフェッショナルステージ声楽部門第3位。第78回全日本学生音楽コンクール大阪大会第3位。第13回関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバルオペラ『万葉集』～二上挽歌編～大津皇子役として出演。大阪芸術大学第43、44回オペラ公演『魔笛』ではパパゲーノ役で出演。大阪芸術大学第45回オペラ公演『氷山ルリの大航海』ではオーシャン役で出演。他にも『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵役、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役、『愛の妙薬』ベルコーレ役で出演。声楽を三原 剛氏に師事。

Q1. 学生の頃とは違い、複数の本番の稽古を並行して行うのではじめはついていくだけで精一杯でしたが、少しずつ慣れてきてのびのびと歌えるようになってきています。また入った当初から先輩方が、優しく接してくれているので、新しい環境でも楽しく過ごすことができています。まだまだ色々と未熟なところが多いですが、日々全力で取り組んでいきます！

Q2. 多くの本番を重ねる中で色んなジャンルの音楽に触れ自分の声の可能性を広げてレパートリーを増やしていきたいです。また発声方法や舞台上での立ち振る舞い方を、レベルの高い歌手や演出家、指揮者の中で研鑽を積んでいき、来てくださった皆様に良い公演だったなと言ってもらえるようになりたいです！

公演情報

美しい日本の歌

びわ湖ホール声楽アンサンブルが、唱歌や童謡、昭和・平成に親しまれた歌謡曲を熱唱する大人気シリーズ、今年もびわ湖ホールと米原の滋賀県立文化産業交流会館の2か所で行います。誰もが知る名曲を、京都フィルハーモニー室内合奏団と、植松さやかのピアノ演奏でお届けします。

昨年のびわ湖ホールの公演から

指揮：本山秀毅（びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者）
編曲/ピアノ：植松さやか　出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽：京都フィルハーモニー室内合奏団

［曲目］ ■歌い継ぎたい日本の歌
「世界の国からこんにちは」、「びわこ賛歌」、「高校三年生」、「花」、「箱根八里」
「気球に乗ってどこまでも」、「夢の世界を」、「鵲」（木下牧子曲）ほか
【みんなで歌おう】さくらさくら～うみ～真っ赤な秋～たきび
■昭和・平成のヒット曲
「お祭りマンボ」、「秋桜」、「みずいろの雨」、「め組の人」「DIAMONDS〈ダイアモンド〉」
「コーヒールンバ」、「道化師のソネット」「涙そうそう」、「麦の唄」、「愛燦燦」

●米原公演　8月2日（土）14:00開演
滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール内特設舞台「長栄座」
一般3,300円　青少年（24歳以下）1,650円

●びわ湖ホール公演 8月10日（日）14:00開演［大ホール］
一般3,300円　青少年（24歳以下）1,650円
シアターメイツ770円　チケット発売中

〈田中信昭氏追悼公演〉
「愉しく、美しく、すてきな合唱を永遠に」

2024年9月にご逝去されたびわ湖ホール声楽アンサンブル名誉指揮者 田中信昭氏の追悼コンサートをびわ湖ホール声楽アンサンブルメンバー総勢26名で開催します。

ピアノの中嶋 香（左）と「野ばら」を編曲した作曲家の権代敦彦

ピアノ：中嶋 香
出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル
9月6日（土）14:00開演［大ホール］
一般3,300円　青少年（24歳以下）1,650円
シアターメイツ770円　チケット発売中

［曲目］
柴田南雄：水上　林 光編：待ちぼうけ、ゴンドラの唄
武満 徹/林 光：死んだ男の残したものは
権代敦彦：野ばら（初演）
間宮芳生：合唱のためのコンポジション1-4楽章
池辺晋一郎：ベンガルの舟歌、三善 晃：生きる、唱歌の四季 ほか

阪 哲朗オペラセミナーⅢ～『フィガロの結婚』～

「若い音楽家が将来羽ばたくために活用を」と若杉 弘びわ湖ホール初代芸術監督の夫人 長野羊奈子様よりびわ湖ホールに遺贈された〈若杉・長野音楽基金〉を活用しています。
びわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗が講師を務めるオペラセミナー。国内外から公募した受講者への指導の様子を一般に公開し、オペラ制作の裏側も見ていただけます。

昨年のオペラセミナーの様子

講師：阪 哲朗、三ツ石潤司（新国立劇場オペラ研修所専任コレペティトゥア）、西 聡美（ベルリン国立歌劇場コレペティトゥア）
独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル　管弦楽：大阪交響楽団
受講者：プロの指揮者、コレペティトゥアを目指す若手音楽家
内容：18～20日　ピアノでの演習、21～22日　オーケストラでの演習

8月18日（月）～22日（金）［大ホール］
［5日通し券］一般6,600円　U30（30歳以下）2,200円
［1日券］一般2,750円　U30（30歳以下）1,100円　全席自由席　チケット発売中

公演Report

びわ湖ホール　音楽会へ出かけよう！（「ホールの子」事業）

5月28日（水）～30日（金）、6月3日（火）～5日（木）（6日間12公演）　一般公演5月31日（土）［大ホール］

滋賀県内の小学校や特別支援学校の児童・生徒を招き、生の本物の舞台芸術に親しんでもらおうと、びわ湖ホールと県・滋賀県教育委員会の共催で2011年にスタート、これまでに10万人以上が参加、昨年に引き続き今回も6日間12公演を行い、約1万3千人以上が鑑賞、また一般向け公演も行いました。

指揮はびわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗、びわ湖ホール声楽アンサンブルの歌唱、管弦楽は京都市交響楽団が、ヘンデルの「水上の音楽」より"アラ・ホーン・パイプ"、ビゼーの歌劇『カルメン』前奏曲、グリーグ「ペール・ギュント」第1組曲より"山の魔王の宮殿にて"といったクラシック音楽の名曲を演奏。また、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より"ドレミの歌"、映画「スター・ウォーズ」や「ゴジラ」のメインテーマ、アニメ「名探偵コナン」メインテーマなど、さまざまなジャンルの名曲も披露。曲に反応して手拍子が自然にわきおこるなど、盛り上がりました。

左より山内由香、阪 哲朗、大野光星

そして「みんなで歌おう」のコーナーでは、声楽アンサンブルのメンバーが客席に降り、子どもたちとともに「翼をください」を大合唱しました。

学校巡回公演

5月8日（木）、9日（金）、12日（月）、13日（火）、14日（水）

"心に残る音楽体験を子どもたちに届けたい"という思いで県内の小・中学校を訪れる「学校巡回公演」。びわ湖ホールと滋賀県教育委員会等との共催で、びわ湖ホール声楽アンサンブルが、今年度は中学校6校、小学校4校で体育館を会場に、オペラ・アリアや唱歌、ジブリ映画のテーマソング、合唱曲など約60分のコンサートをお贈りしました。

林康子　声楽曲研修

5月21日（水）、22日（木）、23日（金）［小ホール］

「若杉・長野音楽基金」を活用して実施した「林康子 声楽曲研修」。びわ湖ホール声楽アンサンブルが、日本を代表するオペラ歌手 林康子さんの指導でオペラ・アリアの研さんに取り組みました。

林さんは、日本人で初めてイタリア・オペラの殿堂ミラノ・スカラ座で『蝶々夫人』の主役を務めたほか、世界各地の歌劇場で数多くの役を歌った経験を持つ国際的な名歌手です。

声楽アンサンブルが声の飛ばし方、発音をはじめ、様々なテクニックについての指導を受け、どんどん声の輝きを増していきました。客席では一般の観客が、その様子を観覧しました。

この研修をもとに来年3月の第82回定期公演が開催されます。

公演レポート

びわ湖ホール プロデュースオペラ
コルンゴルト作曲『死の都』
2025年 3月1日(土)・2日(日) 大ホール

舞台形式での日本初演となった栗山昌良のダイナミックな演出が好評

びわ湖ホールの日本有数の舞台機構を使ったスケールの大きい演出

20世紀初頭のウィーンで、天才作曲家として頭角を現したコルンゴルトが作曲した『死の都』は、1920年の初演以来世界中の約80の歌劇場で上演されるなど音楽界を席巻しましたが、戦後の時代の趨勢から取り残され「忘れられた作曲家」となりました。

その後、1990年代末から欧州で再評価され、それは日本にも波及し、1998年に京都市交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団が演奏会形式で上演、2014年にびわ湖ホールが舞台上演で日本初演し、直後に新国立劇場も上演しました。

この公演が2度目のパウル役となる山本康寛(右)とマリー/マリエッタ役の木下美穂子

ステンドグラスの映像などが効果的に使われる、合唱はびわ湖ホール声楽アンサンブル中心

今回は、2014年の日本初演時にホールの4面舞台の特長を生かして、大きな話題となった故栗山昌良の演出の再演で、そのダイナミックさと繊細さを併せ持つ舞台は変わらず好評を博しました。

パウル役のびわ湖ホール声楽アンサンブル出身の清水徹太郎と山本康寛、マリー/マリエッタ役の森谷真理と木下美穂子、フランク役の黒田祐貴と池内 響、ブリギッタ役の八木寿子、山下牧子をはじめとするキャスト陣が、阪哲朗の勘所を押さえた指揮に、京都市交響楽団が見事にこたえました。

「びわ湖の春 音楽祭2025～挑戦～」

2025年4月26日(土)・27日(日) 大・中・小ホール・メインロビー

びわ湖ホール全館とホール周辺の飲食ブースなど、約13,000人が来場されました。

コロナ禍での規模縮小を経て、昨年からびわ湖ホール全館での開催となり、今年は有料公演15公演、メインロビーほかで無料10公演、さらに屋外にキッチンカーが並び、オーストリアワインのブースが出店するなど、にぎわいのある音楽祭となりました。テーマは音楽祭のプロデューサーを務める芸術監督の阪 哲朗が提唱した「挑戦」。出演者は自分なりの「挑戦」を込めたプログラムで挑みました。

初日のメインロビーで三日月知事と阪による開幕宣言から音楽祭がスタート。オープニング・コンサートは、阪指揮の京都市交響楽団が登場、今年度、びわ湖ホールで2つのオペラの主役を務める関西を代表するソプラノ並河寿美と昨年の浜松国際ピアノコンクールで日本人初の優勝者となった鈴木愛美という注目の2人をソリストに迎えて行いました。

公演には、世界的なオーボエの名手、ハンスイェルク・シェレンベルガーや若手人気チェリストの上野通明、箏の片岡リサ、木琴奏者の通崎睦美、ピアノの石井楓子などが出演。

この音楽祭の目玉の一つ「0歳児からのコンサート」、京都橘高等学校、箕面自由学園高等学校によるマーチングやチアリーディングなども行いました。

また、昨年から始まった「びわ湖ホール ピアノコンクール」の第1位受賞者、上位入賞者の公演、阪の指揮で滋賀県高等学校合同合唱団とびわ湖ホール声楽アンサンブルの共演といった新しい「挑戦」を込めたプログラムも加わりました。

オープニング・コンサート　観客の拍手にこたえる阪　哲朗(前方左)、並河寿美(前方中央)、鈴木愛美(前方右)、オーケストラは京都市交響楽団

第1回びわ湖ホール ピアノコンクール第1位受賞者コンサートより　牧嶋慧太

阪 哲朗の指揮、滋賀県高等学校合同合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブルの公演より

無料のロビー公演には多くの聴衆が詰め掛けました

特別コンサート
ウィーン少年合唱団

2025年5月10日(土) 大ホール

びわ湖初登場の「天使の歌声」が多くの聴衆を魅了しました。

©松尾淳一郎

5月6日　東京オペラシティ コンサートホール公演より

「天使の歌声」として世界を魅了する「ウィーン少年合唱団」が初来日から70周年を迎える今年、びわ湖ホールに初登場しました。

滋賀県では、2023年11月にオーストリア・ブルゲンラント州と交流と協力に関する覚書を締結するなどオーストリアとの文化をはじめとする幅広い分野での交流に向けての取り組みを進めていて、今回の公演もその一環です。

今年は生誕200年を迎えるヨハン・シュトラウスⅡ世の「皇帝円舞曲」などのワルツやポルカを中心とするプログラムで、多くの観客を魅了しました。

公演はいかがでしたか。

小林奈津子さん、けんせいくん親子

びわ湖ホールには毎年、何度か訪れているという小林奈津子さんとけんせい君(8歳)。「声がすごかったです。『春の声』が一番良かったです。家でも聴いたことがありました」(けんせい君)「びわ湖ホールには『子どものための管弦楽教室』には欠かさず来ています。ピアノやヴァイオリンは習っているんですが、合唱にも興味を持っているようなので、このコンサートは楽しめたようです」と奈津子さん

2025年 夏・秋公演 Pick up!!

上野耕平・三浦一馬・山中惇史
(サクソフォン)　(バンドネオン)　(ピアノ)
トリオ・コンサート

進化し続ける若手実力派アーティスト3人が確かなテクニックと卓越した音楽性で創り出す情熱のステージ！サクソフォン、バンドネオン、ピアノによるエネルギッシュでスリリングな音楽をお楽しみください。

上野耕平　©Yuji Ueno

三浦一馬　©日本コロムビア

山中惇史　©Takafumi Ueno

[曲目]ピアソラ:フーガと神秘、レオノーラの愛のテーマ　ラヴェル:ボレロ　ほか

8月24日(日) 14:00開演【中ホール】

一般4,950円　青少年(24歳以下)2,200円　シアターメイツ1,100円　チケット発売中

気軽にクラシック41
上野博昭　フルート名曲選 ～美味しいアラカルト～

実力派アーティストの演奏による1時間のコンサート。クラシック音楽の楽しさを満喫できる、文字通り気軽に楽しめる公演をお贈りします。

今回は、京都市交響楽団首席フルート奏者が登場。優雅で美しい音色で奏でる魅力の“アラカルト”をお楽しみください。

上野博昭

河合琴絵

出演:上野博昭(フルート)
河合琴絵(ピアノ)

[曲目]フォーレ:シシリエンヌ　ドップラー:ハンガリー田園幻想曲　ほか

8月31日(日) 14:00開演【小ホール】

一般1,100円　チケット発売中

ピーピング・トム「トリプティック」

驚愕のテクニックと独創的なスタイルで、数々の衝撃作を生み出し、世界中に熱狂的なファンを持つ、ベルギーのダンスカンパニー ピーピング・トム。びわ湖ホールには、2017年の『ファーザー』以来の登場。

卓越した身体能力を持つダンサーと目を見張るトリックが話題の三部作「トリプティック」(「ミッシング・ドア」、「ロスト・ルーム」、「ヒドゥン・フロア」)で待望の来日公演を果たします。

「トリプティック」　©Virginia Rota

コンセプト・演出:ガブリエラ・カリーソ&フランク・シャルティエ
[演目]「トリプティック(三部作)」

10月4日(土) 14:00開演【中ホール】

友の会優先発売:7月3日(木)
一般発売:7月5日(土)

一般6,050(5,500)円
青少年(24歳以下)2,200円

関連企画開催 10月5日(日)
※詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

名曲コンサート
華麗なるオーケストラの世界 vol.8 大井 駿×日本センチュリー交響楽団

オーケストラの名曲を日本センチュリー交響楽団による本格的な演奏でお贈りするコンサートシリーズ。

今回の指揮者大井 駿は、2015年、第9回横浜国際コンクールピアノ部門第3位、2022年、第1回ひろしま国際指揮者コンクール第1位などの受賞歴を持ち、指揮者、ピアニスト、フォルテピアノ奏者としても活躍する逸材です。

これまで東京都交響楽団、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団など、国内の主要オケを指揮、ドイツのユンゲ・ドイチェ・フィルのピアニストも務めています。今回は弾き振りでベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番とブラームスの交響曲第4番というドイツ音楽の最高峰に位置する2作品に挑戦します。

大井 駿　©Grist The Kidsuzhi

日本センチュリー交響楽団　©井上嘉和

[曲目]ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第4番　ト長調 op.58(カデンツァ:ブラームス)
ブラームス:交響曲第4番 ホ短調 op.98

10月11日(土) 15:00開演【大ホール】

S席4,400(3,850)円　A席3,300(2,750)円　B席2,200円　C席1,100円
青少年(24歳以下)S～B席1,650円　シアターメイツS～B席770円　チケット発売中

室内楽への招待
クァルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏)

多彩な演奏家による「室内楽」の魅力を紹介するシリーズ。世界の第一線で活躍する弦楽四重奏団の公演を開催するほか、室内楽の楽しさを様々な角度からご紹介します。

結成30年を超える弦楽四重奏団として、意欲的に活動を続けるエクセルシオ。およそ10年ぶりとなるびわ湖ホールでは、幅広いレパートリーより弦楽四重奏の名曲をお届けします。日本が誇る弦楽四重奏団の演奏を存分にお楽しみください。

出演:クァルテット・エクセルシオ
[曲目]モーツァルト:弦楽四重奏曲 第14番 ト長調 K.387
シューベルト:弦楽四重奏曲 第12番 ハ短調 D703「四重奏断章」
ヒンデミット:弦楽四重奏曲 第1番 ハ長調 op.2

10月12日(日) 14:00開演【小ホール】

友の会優先発売:7月10日(木)　一般発売:7月12日(土)
一般4,400(3,850)円　青少年(24歳以下)1,650円

大学連携/人材育成事業
みんな集まれ～お月見とパフォーマンス

成安造形大学、立命館大学と連携をしてお届けするパフォーマンスイベント。昨年度大好評だったロビーイベントを開催!アーティストと大学生のコラボレーション公演とワークショップをお楽しみに。

過去の公演

9月13日(土) 18:30開演【メインロビー】　入場無料

出演:いいむろなおきマイムカンパニー
北村成美(ダンサー・振付家)

9月12日(金)に公開リハーサルを予定。

びわ湖ホールプロデュースオペラ

新制作

プッチーニ作曲 歌劇『トゥーランドット』

全3幕　イタリア語上演・日本語字幕付

連続エッセイ Vol.2 上演に寄せて

2026年のプロデュースオペラでは、プッチーニの歌劇『トゥーランドット』を取り上げます。指揮を執るのはびわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗。ドイツ語圏の歌劇場で20年以上、音楽総監督などを務めた経験を持ち、ドイツ、イタリアをはじめ、さまざまなオペラを指揮してきました。

びわ湖ホールでは今回がイタリア人作曲家によるオペラの初指揮となります。

統合の天才プッチーニの未完の大作に満を持して臨む

～阪 哲朗指揮のプロデュースオペラ『トゥーランドット』への期待

加藤浩子（音楽評論家）

「意外に思われるかもしれませんが、ドイツ語圏の劇場にいると、イタリアものやフランスものを振らされることが多いんですよ。ドイツものは地元の指揮者が振るから」

阪哲朗がそう言うのを聞いたことがある。

納得した。近年接した阪のイタリア・オペラの出来栄えが、想像のはるか上をゆくものだったからだ。

阪といえばドイツもの。そう思っている方は少なくないだろう。洒脱で機微に富んだ『こうもり』から芳醇かつ生命力に溢れた『死の都』まで、びわ湖ホールで披露された名演も忘れ難い。

だがイタリアものも素晴らしい。常任指揮者を務める山形交響楽団での『椿姫』や『トスカ』は、目から鱗の名演だった。この2作がオペラとして、そしてドラマとしていかに完璧であるか。阪の指揮は、そのことをくまなく描き出していたのだ。

『椿姫』ではまず「イタリア語の会話のスピードに合わせた」という絶妙なテンポ感に持って行かれた。シンプルな音楽が生き生きとはずみ、ドラマとぴたりと噛み合う。対して『トスカ』では、同時代に黎明期を迎えた映画に通じるスピード感がドラマを運ぶ。プッチーニ・オペラはオーケストレーションも魅力だが、阪はワグネリアンでもあるプッチーニのライトモティフ使いの巧みさを炙り出しつつ、イタリア的な音色の艶やかさとフランス的なカラフルな色彩感も盛り込んで、統合の天才プッチーニを際立たせた。プッチーニならではの甘美な「歌」もきっちり聴かせ、劇的な場面では一気呵成に畳み込む。まさに映画のような、完璧なドラマだった。

阪によれば、『椿姫』は30年前から30回以上、『トスカ』はプッチーニ・オペラにしては少ない方だが、それでも20回は振っているという。『蝶々夫人』や『トゥーランドット』はずっと多いというから、プッチーニを知り尽くしていると言っても過言ではない。

考えてみれば、ドイツやスイスの劇場でも一番人気の演目はイタリア・オペラの王道レパートリーなのだ。音楽監督ならば、ジャンプインで振れて当たり前。長年そのような環境で「現場の人」だった阪が、オペラ指揮者にとって最も魅力的なレパートリーの一つであるプッチーニに通暁しているのは当然だろう。

今回指揮する『トゥーランドット』は、プッチーニの遺作であると同時に最大の野心作である。オラトリオのように活躍する大合唱を含む大規模な編成も破格なら、ストラヴィンスキーやシェーンベルクのエコーも映し出される響きも斬新。一方でリューのアリアに代表される切々と抒情的な「プッチーニ節」も健在だ。1920年代におけるオペラの過去、現在、未来が織り込まれ、オペラを知り尽くした阪の手腕の見せ所にふさわしい大作である。オーディションで選ばれた歌手陣も今の日本を代表する名手揃い。合唱が活躍するオペラなので、びわ湖ホール声楽アンサンブルのこれまでの蓄積も、合唱とソロの双方に生かされる。

オペラの統合者プッチーニが遺した未完の金字塔に、満を持して挑む阪とびわ湖ホール。今の日本のオペラ界の可能性を知らしめてくれる公演になることは、間違いない。

イタリア・リコルディ社による『トゥーランドット』のスコア宣伝のためのポスター

(Profile)加藤浩子　Kato Hiroko
東京生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、同大学院博士課程満期退学（音楽史専攻）。音楽物書き。主にバッハを中心とする古楽およびオペラについて執筆、講演活動を行う。オンライン講演会も多数。また欧米の劇場や作曲家ゆかりの地をめぐるツアーの企画同行も行い、バッハゆかりの地を巡る「バッハへの旅」は20年を超えるロングセラー。著書に「今夜はオペラ！」、「ようこそオペラ」、「バッハへの旅」、「バッハ」「黄金の翼＝ジュゼッペ・ヴェルディ」「ヴェルディ」「オペラでわかるヨーロッパ史」「音楽で楽しむ名画」「オペラで楽しむヨーロッパ史」など。最新刊は「16人16曲でわかる オペラの歴史」（平凡社新書）

2026年3月7日(土)・8日(日)
両日とも14:00開演［大ホール］

指揮：阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）
演出：栗國 淳
管弦楽：京都市交響楽団
合　唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル
出演：トゥーランドット　谷 明美、並河寿美
　　カラフ　宮里直樹、清水徹太郎*
　　ティムール　妻屋秀和、西田昂平**
　　リュー　吉川日奈子、船越亜弥*
　　ほか
*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー
**びわ湖ホール声楽アンサンブル

友の会優先発売：9月26日(金)
一般発売：9月28日(日)

Topics

芸術監督 阪 哲朗が芸術選奨文部科学大臣賞受賞

びわ湖ホール芸術監督の阪 哲朗が、芸術監督として最初のプロデュースオペラ公演であるR.シュトラウス作曲『ばらの騎士』等の成果により、令和6年度（第75回）芸術選奨文部科学大臣賞（音楽部門）を受賞しました。

受賞コメント

海外でキャリアを始めた逆輸入品のような私にとって、このような賞をいただけることは、望外の喜びで大変光栄です。
指揮者は音を出さない唯一の音楽家。ご関係の皆様あってこそと感謝しています。今後もこの賞に恥じぬ様、精進して参ります。阪 哲朗

受賞式での阪 哲朗（右）

びわ湖ホール長期休館についてのお知らせ

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールは、滋賀県による大規模改修工事が行われるため、令和8年（2026年）7月1日（水）から令和10年（2028年）2月末（予定）まで全館休館いたします。休館中は、文化産業交流会館や県内の文化ホールと連携を図りつつ、県内外での声楽アンサンブルの活動をさらに拡充するほか、休館中だからこそできる様々な取り組みを検討しています。

「びわ湖ホール友の会」会員募集中

長期休館中の友の会制度の取り扱いについて

今、ご入会いただくと、会員期限を一律、令和10年（2028年）3月末までとさせていただきます。令和8年度（2026年度）、令和9年度（2027年度）の年会費が無料となり、大変お得です。

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスを提供いたします。

年会費　2,500円（税込）

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待、オペラ公演のゲネプロ（総稽古）へのご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費　一口につき10,000円（税込）

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援してくださる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待　□チケット優先予約・無料郵送　□ゲネプロへのご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載　□メインロビーへの会員名掲示　など

詳しくはホームページをご覧ください。

年会費　一口につき100,000円（税込）　入会金不要　<お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部　TEL.077-523-7140

《特別会員》のみなさま

合同会社あさぎり／アマノマネジメントサービス株式会社／綾羽株式会社／新木産業株式会社／株式会社アルファス／一圓テクノス株式会社／いなみ矯正歯科／岩佐益男／上原恵美／宇髙節子／エアスペンサー株式会社／株式会社栄光社／NTT西日本滋賀支店／近江工業株式会社／近江鍛工株式会社／大岸 実／大谷 巌公認会計士事務所／大津商工会議所／おかもと眼科クリニック／株式会社奥田工務店／小倉美佐子／オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店／河津恵子／株式会社関西みらい銀行／北村クリニック／株式会社木の家専門店 谷口工務店／木村水産株式会社／錦織昭彦／株式会社きんでん滋賀支店／株式会社キントー／草津電機株式会社／granlumieグランルミエ／KKゴルフクラブ／京滋舞台芸術事業協同組合／京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖ホテル／甲賀高分子株式会社／小高得央／株式会社コングレ／株式会社笹川組／株式会社佐藤総合計画関西事務所／三精テクノロジーズ株式会社／株式会社しがぎん経済文化センター／株式会社滋賀銀行／滋賀近交運輸倉庫株式会社／滋賀県信用金庫協会／滋賀県信用保証協会／滋賀ヤサカ自動車株式会社／株式会社自然総研／株式会社清水屋呉服店／株式会社十字屋／公益財団法人秀明文化財団／株式会社昭和バルブ製作所／株式会社JOJI STABLE／スカイ カナダ留学／株式会社スマイディア／学校法人純美禮学園／成安造形大学／瀬田医院／ダイハツ工業株式会社滋賀（竜王）工場／株式会社ダイフク滋賀事業所／大和証券株式会社京都支店／高坂哲夫／タカヒサ不動産株式会社／高谷トマト／ちばレディースクリニック／塚本社会保険労務士事務所／株式会社ツジトミ／株式会社DGコミュニケーションズ／寺田健治／株式会社天下一品／トヨタモビリティ滋賀株式会社レクサス大津／鳥越久里／中川道子／西川 望／日新薬品工業株式会社／日本生命保険相互会社／日本ソフト開発株式会社／日本メンテナンス株式会社／日本メンテナンス株式会社大津支店／野村證券株式会社大津支店／羽泉正浩／バウ・クリエイト株式会社／公益財団法人ハンカ文化振興財団／有限会社ひだい美術／株式会社日立建機ティエラ／日野精機株式会社／株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ／びわ湖大津プリンスホテル／琵琶湖汽船株式会社／びわ湖放送株式会社／ふくた診療所／藤井絢子／兵神装備株式会社滋賀事業所／ホテルブルーレーク大津／増山公昭／株式会社松村電機製作所関西支店／豆藤／三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社／宮川印刷株式会社／music square 芝蘭会／村上孝弘／望田法律事務所／山科精器株式会社／ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所／山本英司／税理士法人山本会計／ヤンマーホールディングス株式会社／横田昌和公認会計士事務所／立命館守山中学校・高等学校／龍谷大学吹奏楽部／ロマン楽器株式会社／株式会社ワコール／和田厚幸／渡辺朗夫

（五十音順・敬称略・一部非掲載／2025年5月31日現在）

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー：株式会社 叶 匠寿庵

「Staying in past」2022 yumiko FUJINO
びわ湖ホールオフィシャルスポンサー：東レエンジニアリング

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー：株式会社平和堂

シアターメイツ会員募集中

年会費無料　6歳～18歳なら誰でも入会可!

シアターメイツは子どもたちに気軽に舞台芸術を楽しんでいただく会員制度です。シアターメイツ優待公演は青少年チケット料金の約半額でお楽しみいただけます。舞台芸術を“生”で観て、聴いて、心を育む体験をぜひ！

みてと 印の公演はシアターメイツ優待公演です。

ご入会方法など詳しくはホームページをご覧ください。

びわ湖ホール シアターメイツ特別顧問 にゃんばら先生 ©藤田佳奈子

びわ湖ホール 舞台芸術基金

～舞台芸術へのご寄付をお待ちしています～

皆さまから頂戴したご寄付は、基金として大切にお預かりし、3種類の事業に活用してまいります（ご寄付の際にお選びいただけます）。

詳しくはホームページをご覧ください。

<お問い合わせ> びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部　TEL.077-523-7140

滋賀県立文化産業交流会館

Art journey

えいじゃに

※Art journeyからネーミングした「えいじゃに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

15年目の芝居小屋「長栄座」公演、始まります！

芝居小屋「長栄座」 8/2(土)～11(月・祝) 夏のフェスティバル

かつて長浜市に実在した芝居小屋「長栄座」を期間限定で文化産業交流会館のイベントホール内に再現して、多彩な催しを展開します。
当館での芝居小屋「長栄座」公演も、本年で15年目！定式幕が引かれ、舞台に向かって花道が伸び、芝居小屋情緒たっぷりです。この機会にぜひご来場ください。

↑「長栄座」特設ページはこちら

令和7年度 芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル ラインアップ

01 びわ湖ホール声楽アンサンブル 「美しい日本の歌」米原公演vol.5

懐かしい童謡や唱歌、昭和から平成を彩った歌謡曲など、心に響く歌を芝居小屋の雰囲気の中お楽しみください。令和7年度に新加入のびわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーも、米原に初登場です。

- 日時　8月2日(土) 14:00開演
- 出演　本山秀毅(指揮／びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者)
  びわ湖ホール声楽アンサンブル(独唱・合唱)
  京都フィルハーモニー室内合奏団、植松さやか(編曲／ピアノ)
- 演目　鵲、愛燦燦、びわこ賛歌、高校三年生 ほか
- 料金　一般3,300円　青少年(24歳以下)1,650円　全席指定　好評発売中

02 芝居小屋「長栄座」 昔あそびのひろば

日本で古くから子どもたちに親しまれてきた、紙芝居、竹馬、めんこ、お手玉、コマ、カロムなど、懐かしい昔あそびを芝居小屋「長栄座」でお楽しみいただきます。忍者も登場し、手裏剣投げの技にも挑戦！
縁日みたいに綿菓子つくりや風船すくいもあります。夏休みの思い出に、ぜひご家族でお越しください。

- 日時　8月3日(日) 11:00～16:00
- 出演　伊賀之忍者衆 羅威堂(いがのにんじゃしゅう らいどう) ほか
- 協力　米原市シルバー人材センター
- 入場　無料(入退場自由)

03 藤原道山&片岡リサ 尺八&箏デュオ・コンサート －尺八と箏で綴る日本の四季－

文産×大阪音楽大学　連携・協力協定締結3周年記念企画

「邦楽界のプリンス」尺八奏者の藤原道山、多彩な活動で注目を集める箏奏者片岡リサによる邦楽コンサート。ゲストに大津市出身で大阪音楽大学を卒業した若手ヴァイオリン奏者の宮田晴奈を含む弦楽奏者4名を迎えての和洋コラボレーションステージをお贈りします。

藤原道山

片岡リサ

- 日時　8月9日(土) 14:00開演
- 出演　藤原道山(尺八)、片岡リサ(箏)
  (ゲスト)農頭奈緒(ヴァイオリン)
  宮田晴奈(ヴァイオリン)
  駒木愛弓(ヴィオラ)
  竹中裕深(チェロ)
- 演目　Momiji～尺八と箏のための(藤倉大 作曲)
  尺八・箏×弦楽四重奏による
  日本の四季メドレー ほか
- 料金　一般3,500円　青少年(24歳以下)1,500円　全席指定　好評発売中

04 「湖北百景－羽衣舞う余呉(よご)」

「湖北百景」の2年目となる今年は、余呉の「羽衣伝説」に着目。能に「羽衣」という演目があることから、能「羽衣」を湖北の伝説に織り交ぜて物語に再構築した能楽組曲「余呉」をお楽しみください。

- 日時　8月11日(月・祝) 14:00開演
- 演目・出演　**オープニング：「琵琶湖周航の歌」 滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」**
  第1部　「湖北につたわる羽衣伝説とは」(トーク)
  小林昌廣(前・情報科学芸術大学院大学教授)、田茂井廣道(観世流能楽師)
  筑田利美(長浜市立余呉小中学校初代校長・よご地域づくり協議会会長)
  第2部　能楽組曲「余呉」(新作能「菊石」・能「羽衣 和合之舞」)
  片山九郎右衛門、味方玄(シテ)
  滋賀県ゆかりの能楽師(田茂井廣道、浦部幸裕、古橋正邦 ほか)
  京都観世会に所属の能楽師、茂山逸平 ほか
- 料金　一般4,000円　青少年(24歳以下)2,000円　全席指定　好評発売中

片山九郎右衛門　　味方玄

今年の「湖北百景」は「余呉の羽衣伝説」を取り上げます！

余呉の羽衣伝説とは

余呉の「羽衣伝説」には、伊香具に伝わるものと、余呉湖に伝わる2つの系統があります。今回の公演では、余呉湖に伝わる伝説のうち、桐畑太夫と天女の間に生まれた菊石姫の物語を取り上げます。

(あらすじ)
菊石姫は成長するにつれ体が蛇の姿に変化していくので、皆から怖がられ、余呉湖の水中で暮らすようになります。それを不憫に思ったお手伝いの小鍋童子が、自分の食べ物を半分分けて、菊石姫を育てます。そのお礼に、菊石姫はどんな病にも効くという目玉を差し出します。しかし、その目玉の効能を聞きつけた権力者がやってきて……。

関連バスツアーを開催

午前中に今回の物語の舞台である余呉湖や渡岸寺の国宝十一面観音を巡り、午後は「湖北百景－羽衣舞う余呉」の公演をご覧いただくバスツアーを開催します。※満席の場合はご了承ください

- 日時　8月11日(月・祝) 9:00～16:30(「湖北百景」鑑賞含)
- 定員　39名　　代金　12,000円(チケット代、昼食込)
- 集合場所　米原駅東口
- 行程　JR米原駅東口⇒渡岸寺観音堂⇒北国街道・木之本宿(散策)⇒余呉湖⇒舟倉(昼食)⇒文化産業交流会館(観劇後解散)
- ガイド　筑田利美(「湖北百景－羽衣舞う余呉」の第1部登壇)

5/28(水) 「湖北百景」記者発表を行いました

〈左より〉
竹村憲男(館長)、小林昌廣(企画・監修、舞台芸術アドバイザー)、片山九郎右衛門(演出・出演)、田茂井廣道(出演)、筑田利美(よご地域づくり協議会会長)

近江のあたらしい伝統産業展 同時開催！

「湖北百景－羽衣舞う余呉」の公演(8/11)にあわせて開催。湖北地域をはじめとする滋賀の伝統的工芸品や特産品などの展示、販売を行います！

その他の当館のオススメ事業

びわ湖ミュージックコネクトvol.3 田島茂代声楽リサイタル

- 日時　9月20日(土) 14:00開演
- 出演　田島茂代(ソプラノ)
  山岸茂人(伴奏／ピアノ)
- 会場　小劇場
- 料金　一般3,000円
  青少年(24歳以下)1,500円
  チケット発売 7月19日(土)　全席指定

滋賀では久々となるソプラノ田島茂代のリサイタル。ピアニストの山岸茂人を迎えてドイツ歌曲と日本歌曲の魅力を伝えます。橋本國彦作曲の「舞」はピアノも聴きごたえのある壮大な曲です。

地域創造部情報

滋賀県アートコラボレーション事業

①クルーズ船で巡る「琵琶湖周航和歌の旅」

琵琶湖の湖畔にある数多くの歴史的景勝地や歌枕の地を湖上で眺め、その物語を聞きながら旅をしませんか。

- 日時　9月6日(土) 10:00～11:30
  ※天候により変更の可能性あり
- 発着地　大津港(大津市浜大津5丁目1-1)
- 出演　歌語り：金子瑞穂、渡辺智美
  ヘルマンハープ：山本泰子
- 料金　一般 5,000円　小中学生3,000円　全席自由
  ※6歳以上入場可　※当日券なし　7月2日(水)受付開始
- お問合せ　地域創造部　TEL.077-523-7146

↑申込フォームはこちら

②びわ湖≒オーストリア・ブルックナー管弦楽団(BABO) 第2回演奏会　ブルブル・プロジェクトVol.2

Biwako Austria Bruckner Orchestra

琵琶湖とオーストリアのご縁(形がそっくり)をきっかけに昨年生まれたBABOプロジェクトの演奏をお楽しみください。

- 日時　9月7日(日) 15:00開演
- 会場　栗東芸術文化会館さきら 大ホール
  (栗東市綣2丁目1-28)
- プログラム　ブルックナー：交響曲第4番変ホ長調「ロマンティック」
  WAB.104(1878/80年稿ハース版)　ほか
- 料金　一般1,500円(当日2,000円)　青少年(24歳以下)500円(当日1,000円)
  ※4歳以上入場可　全席自由　チケット発売中
- お問合せ　BABO事務局　TEL.070-9124-0923(大石)

③愛荘むら芝居「愛知川宿蝸牛庵」

江戸後期、愛知川宿で花開いた芭蕉俳諧の世界を、地元の出演者・スタッフが舞台にします。

- 日時　9月7日(日) 14:00開演
- 会場　愛荘町立ハーティーセンター秦荘 大ホール(愛知郡愛荘町安孫子822)
- 料金　一般500円　全席指定　チケット発売中
- お問合せ　愛荘町立ハーティーセンター秦荘　TEL.0749-37-4110

音楽とアートでつづるおうみの民話 vol.2 本公演「大蟹とお坊さん」

県内各地で語り継がれてきた"民話"をテーマにホールを巡るコンサートを開催するシリーズ。第2回目は、甲賀市に伝わる民話「大蟹とお坊さん」を元に作曲された音楽と語り、そしてアートを加えて滋賀県に所縁のアーティストたちが制作・演奏いたします。どうぞご期待ください。

- 日時　9月27日(土) 14:00開演
- 会場　甲賀市碧水ホール
  (甲賀市水口町水口5671)
- 作曲家　首藤健太郎　　美術家　野田幸江
- 出演　カノチヒロ(朗読)、山下 響(ピアノ)
  髙岸卓人(ヴァイオリン)、中村卓哉(ヴィオラ)、松本愛子(チェロ)
- 料金　一般2,000円　青少年(24歳以下)1,000円　全席自由
- お問合せ　地域創造部　TEL.077-523-7146　チケット発売 7月5日(土)

季刊誌 湖国と文化　第192・夏号 特集 民具～モノ語りと心

日常の中で生まれ、育まれてきた暮らしの形・民具。民具を通して、先人たちの歩み、知恵や心にふれませんか？

「湖国と文化」192号

7月1日発売予定
＜販売価格＞ 660円
＜取り扱い＞ 県内書店、びわ湖ホールショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
＜お問合せ・購入申込＞
びわ湖芸術文化財団 地域創造部「湖国と文化」編集室
TEL.077-523-7146